

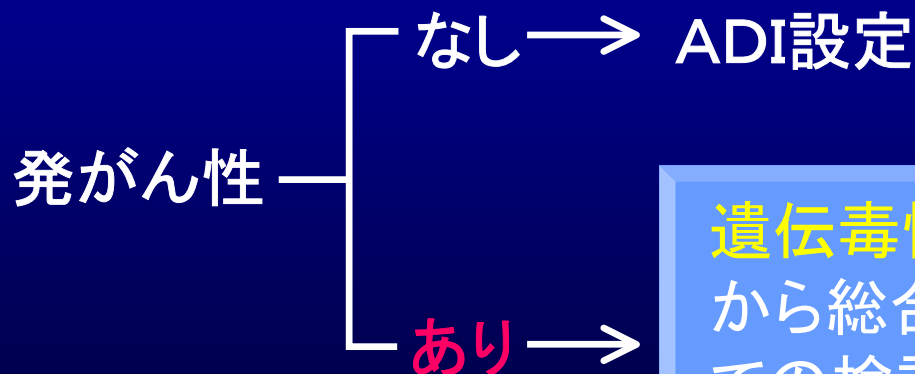
発がん性試験と遺伝毒性試験

「遺伝毒性メカニズムによる発がん性物質」とは

- DNAを直接損傷することによって発がん性を示す
- 閾値(毒性影響が現れない量)がないという考え方が主流

「非遺伝毒性メカニズムによる発がん性物質」とは

- DNAを直接損傷しないため、閾値が存在すると考えられる
- 発がんメカニズムを解明することにより、NOAEL及びADIを設定することができると考えられている



遺伝毒性の有無、発がんメカニズムから総合的に判断し、ADI設定についての検討を行う。